



わかさ生活は、「日本・フィンランド友好プロジェクト」の一環として、毎年フィンランドからサンタクロースを日本へ招待しています。「日本・フィンランド友好プロジェクト」は、『ブルーベリーアイ』の原材料、北欧産野生種ブルーベリー「ビルベリー」を育む北欧・フィンランドに恩返しをしたいという想いから始まりました。日本とフィンランドの架け橋となり、双方の理解や友好を深めるための活動を行っています。

2008年12月15日から19日までの5日間、フィンランド政府公認・本場のサンタクロースが、京都市や福知山市、兵庫県丹波市の保育園や小学校などを訪れました。サンタクロースの来日は、2008年で4年目を迎え、のべ8,000人を超える子どもたちへ夢と感動を届けることができました。

はじめに、サンタクロースの住むフィンランドについて学んだあと、いよいよ待ちに待ったサンタクロースが登場！

子どもたちは「わぁ！」と歓声を上げて大喜び。

みんなサンタクロースに興味津々で、次々に手を挙げて質問を投げかけます。

「サンタさんは何歳ですか？」

「サンタさんの体重は？」

「サンタさんの家って大きいの？ 何人家族？」などなど、

好奇心いっぱいの子供たちからの質問に、サンタクロースはやさしく答えてくれました。

「今年1年、いい子にしていたみんなに、クリスマスプレゼントをあげよう！」

サンタクロースが大きな袋から取り出したプレゼントを受け取って、子どもたちは嬉しそうな笑顔。

覚えたてのフィンランド語で「キーツ（ありがとう）」とお礼を言いました。

世界中の子どもたちに夢や幸せを与えるサンタクロース。

わかさ生活は、これからも日本とフィンランドの架け橋となって、

子どもたちに夢や希望をプレゼントする活動を行って参ります。



フィンランドの自然や暮らしについて勉強しました



覚えたてのフィンランド語で「キーツ（ありがとう）」



「はーい！」サンタさんへの質問の手がたくさん挙がります



友の会にもサンタクロースがやってきました！

## ★サンタクロースから子どもたちへの贈り物

### わかさ生活は「フィンランド式教育」に協力します。

近年、フィンランドは学力世界一の国として注目を集めています。

その特徴は、「知りたい」「学びたい」「伝えたい」という気持ちを育むことを重視している点にあります。

自由で豊かなアイデアを生み出す **発想力**、

実現への筋道を整理する **論理力**、

相手にわかりやすく伝えるための **表現力**—

フィンランド式教育では、これらの力をそれぞれ伸ばすことこそが

「社会で活かせる力」を養うことになると考えているのです。

今回の出逢いで生まれた、子どもたちの

「もっと知りたい」という気持ち、それこそがサンタクロースからの「贈り物」だったのかもしれない。

わかさ生活は健康をお届けする企業として、

子どもたちの健やかな未来を応援するとともに、

子どもたちの可能性を伸ばす、フィンランド式教育に協力します。